



# 日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 160

平成22年1月18日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

謹んで新春のお慶びを申し上げます  
本年もよろしくお願い申し上げます

平成22年元旦

(特)日本耳鼻咽喉科医学会 役員委員一同

## 年頭のご挨拶

(特)日本耳鼻咽喉科医学会  
理事長 清水 淑郎

会員の皆様、明けましてお目出度うございます。

昨年は、新年早々米国に民主党政権が成立しました。

一国主義を貫き、先制攻撃でアフガン、イラクを叩き、力で世界をリードしたブッシュ政権から、国連尊重の平和外交を推進する民主党政権に代わり、将来は地球上に核兵器をなくそうと宣言したオバマ大統領に、早々とノーベル平和賞が贈られ、世界がソフトモードにチェンジしたことは嬉しい事でした。

1 昨年以來、米国発のサブプライム・ローン、リーマンブラザーズの破綻からドーハ危機と続く、世界的経済恐慌と新型インフルエンザ蔓延は「人類よ、驕る勿れ」という天の声ではないでしょうか。

我が国では、50年以上自民党の一党支配が続いていましたが、「コンクリートから人へ」を旗印に、民主党政権が誕生しました。この政権交代は、我が国の政党史上歴史的な出来事の様です。暫く注視していましたが、この民主党政権の足元も危ないようです。

昨年暮れの行政刷新会議での「事業仕分け」は、開かれた政治として国民の注目を集めました。ただ、「耳鼻科の利益率が整形外科や眼科と同じように他科より高いので点数を下げるべき」との取り纏めに対しては直ちに、「曖昧なデータのもとに、現場も知らず、専門家抜きで、即断結着すると、後日重大な混乱を招く」と内閣府担当官に抗議をし、耳鼻科の文言を削除させました。これで途中の結果を出したわけですが、最終結論が出たわけではありません。

また、新政権下の中医協では、診療報酬改定率を、なんと10数年ぶりに、僅かではありますが0.19%のアップとなりました。今まで支持し、毎年の抑制枠を2200億円と固持した前政権よりは、社会保障政策に理解を示したとみて良いでしょう。

今年は参議院選挙、それに先立ち日医の会長選挙があります。候補者が話し合って1本化してもらいたいもの、混乱は何としても避けたいものと思えます。

米国はようやく皆保険制度成立の第一歩を踏み出したようです。先輩格である我が国のように良い社会保障政策遂行を担う医師集団は、政権交代の度に、時の政権与党ににじり寄るのではなく、正々堂々と両者を招いて、しっかりした専門集団ならではの提言をしてゆく気概が必要であります。もっともっと政治に関心を持ち、発言して参りましょう。

今年の臨床家フォーラムは、執行部が実行委員となり、「効率的な医療経営を目指して」を主題として、東京で開催されます。アンケートにご協力頂き有り難うございました。多数のご参加を希望しております。医療界の厳しい時にこそ、団結して事にあたりましょう。

再診料は下げない、外来管理加算5分要件撤廃の財政影響をゼロ 安達委員が思い切った提案

15日、全国都市会館で行われた中医協総会で診療所を代表する京都府医師会副会長の安達委員は1)診療所再診料の引下げは行わない、(2)外来管理加算については、未受診投薬の場合は算定できないこととすると提案した。再診料については診療所を下げずに病院を71点に引き上げの統一を改めて主張。支払側委員はこれには反対している。

一方、外来管理加算については、5分要件を撤廃するものの、撤廃することで改定前の算定回数に戻ることをしないような要件を別に設定することで、財政影響が出ないようにすることを提案。その上で、改めて診療所の再診料は引き上げるべきでないと主張した。外来の改定財源が0.31%、400億円と限定されたことを踏まえた提案だとしている。

なお厚労省は1月15日に、平成22年度診療報酬改定についての意見(パブリックコメント)募集を開始した。期間は、1月15日～1月22日までの1週間。

もし再診料引き下げられれば、耳鼻咽喉科には大打撃か 是非反対のパブリックコメントを

政府の平成20年6月分の社会医療診療行為別調査のデータによると、耳鼻咽喉科診療所の総点数における再診料の割合は、整形外科の17.87%について13.23%と高率となっている。10%以上を占める科は他に外科、精神科。利益率の高いとされた眼科は8.81%に留まっている。従って、もし再診料が引き下げられれば打撃を受けるのは必至である。

日耳鼻医学会清水淑郎理事長は「重症化して、入院手術および高額機器による検査に至る前に悪化を防ぐ外来診療(再診料)のカットに反対する」などの再診料引き下げ反対のコメントを一人でも多くの会員に是非とも個人名で提出して頂きたいとお願いしている。別紙記入のうえ

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1丁目2-2 厚生労働省保険局医療課平成22年度診療報酬に関する意見募集担当宛、郵送して下さいよう宜しくお願い致します。

医療経営に関するアンケート調査協力をお願い  
締切を1月25日までに延長いたしました。

本年9月19日・20日に開催される臨床家フォーラムで、「効率のよい医療経営を目指して」に関して昨年12月に皆様にアンケートをお願い致しました。1月10日現在400余りの回答を頂いていますが、より多くの回答を頂きたいとして、10日の全理事会で回答の締切を1月25日(必着)まで延長致しました。未回答の先生方は是非ともご協力をお願い致します。

**意見提出様式**

**「平成22年度診療報酬改定に係る検討状況について(現時点の骨子)」への意見募集**

このたびは「平成22年度診療報酬改定に係る検討状況について(現時点の骨子)」にご意見を提出いただき、有り難うございます。以下の要領に沿ってご意見を提出いただきますよう、宜しくお願いします。

提出されたご意見の内容について、確認させて頂く場合がございますので、連絡先のご記入をお願いします。

氏名 \_\_\_\_\_ 郵便番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

住所 1 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

1. ご自身の属性について ( \_\_\_\_\_ から \_\_\_\_\_ まで必ず全て記入下さい )

年齢: \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 下記1~5より対応する番号をご記入下さい。)

1. 20歳未満    2. 20歳~39歳    3. 40歳~64歳    4. 65歳~74歳    5. 75歳以上

性別: \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 対応する番号を記入下さい    1. 男性    2. 女性 )

職業: \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 対応する番号を記入下さい    12. 医師(勤務)    13. 医師(開業) )

2. ご意見について

(1 - 1) ご意見を提出される点

項目番号:    4    -    2

内 容 :    診療報酬を患者などにわかりやすいものとする  
ことに対する評価について    とくに    再診料について

(1 - 2) 上記項目に対するご意見